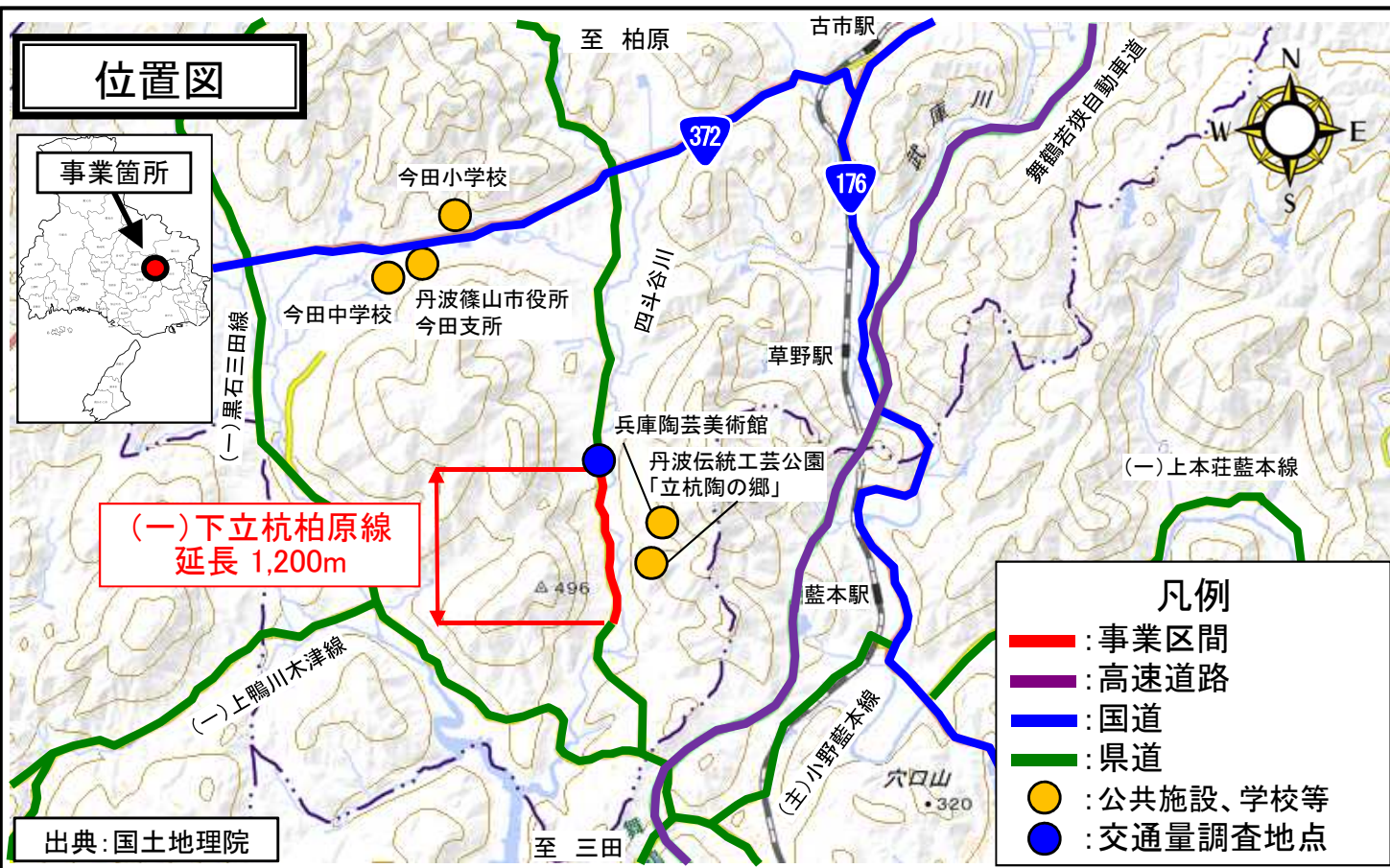


# 交通安全施設等整備事業 一般県道 下立杭柏原線 (継続:再評価〔第1回〕)

## 位置図



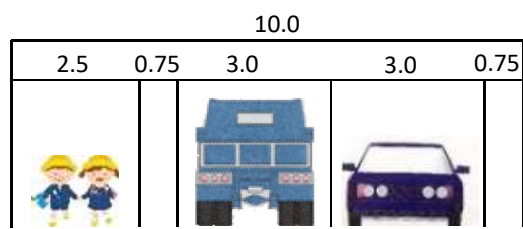
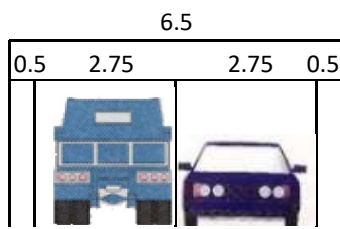
## 事業概要

新規評価年度	H24 (2012)	
事業採択年度	H25 (2013)	
着工年度	H25 (2013)	
再評価年度	R4 (2022)	
	今回評価時点	新規評価時点
総事業費	9.5億円	8.0億円
内用地補償費	5.2億円	4.2億円
完成予定年度	R9年度	H29年度
進捗率 〔用地補償〕	47% 〔50%〕	—
残事業費	5.0億円	—
B/C	—	—
事業内容 ( )新規評価時点	<b>〔延長〕</b> 歩道整備1,200m (1,200m) <b>〔構造規格〕</b> 3種3級 (3種3級) <b>〔計画幅員〕</b> 車道6.0m〔全幅10.0m〕 (車道6.0m〔全幅10.0m〕) <b>〔現況交通量〕</b> (自動車:H27センサス、歩行者自転車:R4実測) 自動車:2,832台/日 (2,833台/日) 歩行者: 64人/12h (70人/12h) 自転車: 46台/12h (36台/12h)	

## 横断図

現況

計画



## 事業の目的、必要性・優先性

目的

① 歩行者、自転車の安全な通行空間の確保

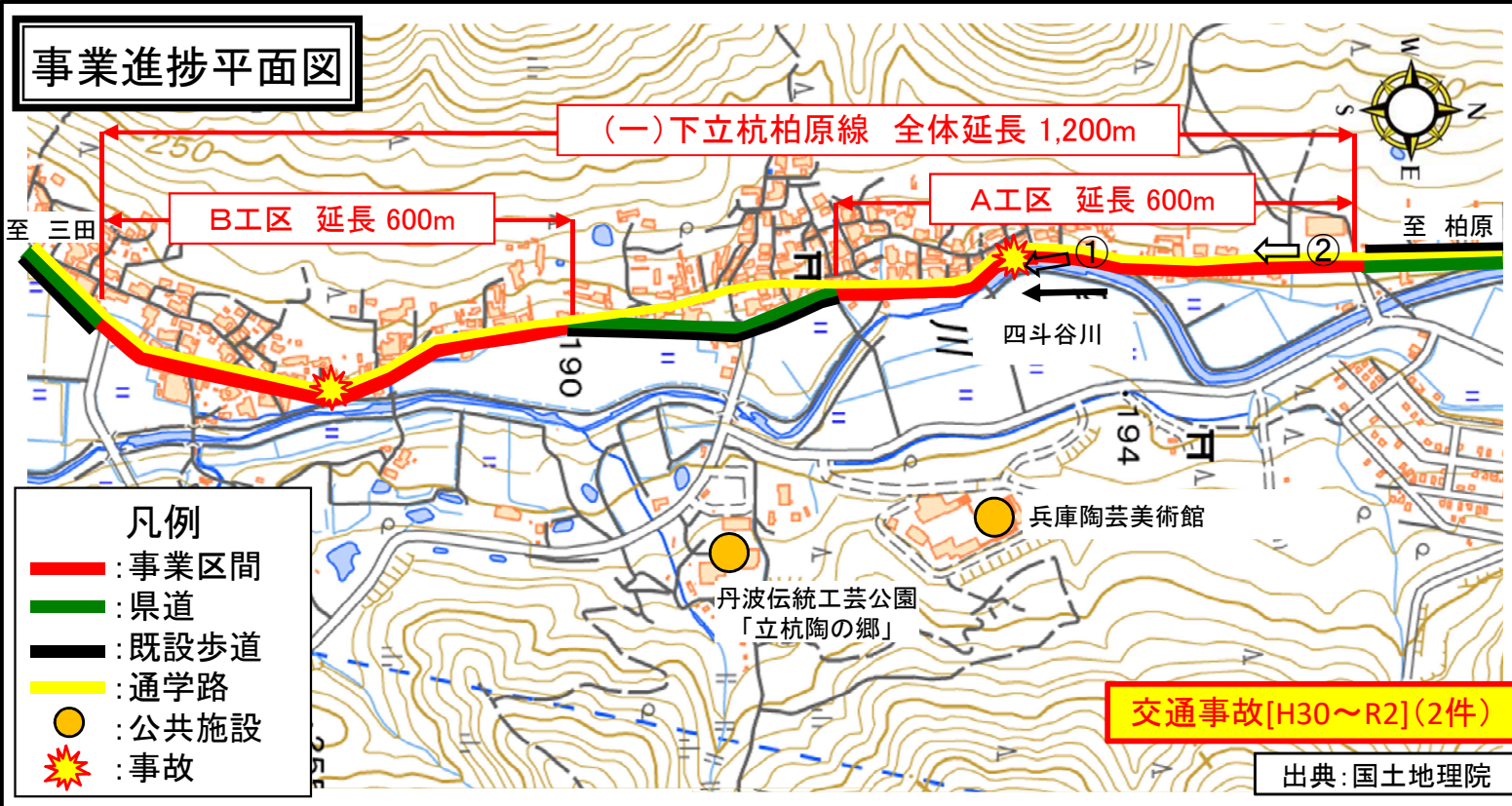
必要性  
優先性

- ① 歩道がなく、路肩も狭いため、小学生を含む歩行者にとって危険。
- ② 路肩が狭く、通学生(中学)を含む自転車利用者にとって危険。
- ③ 通学路交通安全プログラムに位置付けられている。

出典:国土地理院



# 事業進捗平面図



# 現況写真

① 歩道がなく歩行者(特に通学児童)にとって危険



② 路肩が狭く自転車にとって危険



# 進捗状況

	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 (H25~R9)	【事業費=9.5億円】 歩道整備:1,200m 用地取得:約9,200m <sup>2</sup>	今田小学校の通学児童や今田中学校の自転車通学生をはじめとした歩行者・自転車の安全を確保できる。
採択～現在まで (H25~R4)	【事業費=4.5億円】 ①事業進捗率 47% A工区 用地補償工事 ②用地取得率 50% A工区用地補償完了	A工区の工事に必要な用地を順次取得しR3から工事に着手しており、地元の理解と協力を得て事業を進めることができる。
今後5年間 (R5~R9)	【事業費=5.0億円】 R5~6 A工区 工事 R6~9 B工区 用地補償工事	一連の歩行者・自転車の安全な通行空間を確保できる。

# 工程表

■ : 前回計画  
■ : 実施・計画

工種	年度														
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
調査・設計	■		■			■		■		■		■		■	
用地補償 (補償25件)	■		■			■		■		■		■		■	
歩道設置	■		■			■		■		■		■		■	

# 再評価の経緯・結果

再評価に至る経緯等	現在も通学路として使用されており、地元や地権者と協議を続け、A工区より工事に着手している。
再評価の結果	事業の必要性は事業採択時と変わらず、かつ事業に対する地元の要望は強いことから、継続して事業を実施する必要がある。